

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

## 記

1. 講師 徳島大学大学院 名誉教授 坂東 永一 先生

2. 演題 「咬合学を発展させるために」

3. 日時 平成26年11月13日(木)  
17時00分 ~ 18時30分

4. 場所 歯学部特別講堂(歯科棟南4階)

## 5. 内容

補綴学では顎運動に調和した咬合面形態を永年にわたり求め続けてきたが、6自由度顎運動モデルの一つである顎間軸モデルに基づいた検討から咬合参照面が提案され、理論的には一応の結論が得られている。

一方、咬合に対してヒトは、主機能部位や顎機能制御系として知られている反応を示すことが分かってきた。すなわち咬合が変化すれば顎運動も変化するのである。

それでは何を基準に咬合を考えればよいのであろうか？咬合変化に対する顎運動の変化は、反射の影響が大きいので、適当な指標を設けることで客観的な研究が可能になりそうである。

研究機器として使いやすく高性能な咬合可視化装置の開発が待たれる。

連絡先：三浦 宏之(岡田 大蔵) (摂食機能保存学分野 内線 5521)